

地方都市における生活環境施設の整備目標水準について

徳島大学工学部 正員 青山吉隆
 徳島大学工学部 正員 ○近藤光男
 徳島大学大学院 学生員 小西誠司
 徳島市役所 桑原正司
 徳島市役所 仲田優晴

1. はじめに

近年、所得の向上、平準化に伴い、住民の生活の質の向上に対する欲求は高まり、なかでも生活環境施設整備への要求は増大、かつ多様化している。大都市に比較し、生活環境施設整備が遅れている地方都市においては、早急な施設整備が望まれている。本研究では、施設整備の整備目標水準に着目し、ケーススタディとして徳島市を取り上げて考察する。整備目標水準の設定には種々の方法が考えられるが、ここでは類似都市の整備水準を参考にする方法、すなわち、具体的には、全国の都市から徳島市の類似都市を都市の規模、産業、性格等によって選定し、選定された都市群の現在の整備水準を参考にして整備目標水準を設定する方法を検討している。

2. 類似都市の選定

まず、全国636都市のうち、人口が23万～43万人、かつ産業別就業人口比率において、2次と3次の合計が90%以上で、3次が60%以上の都市群を比較対象都市として選出した¹⁾。比較対象都市は、表-1に示すように、徳島市を含め26都市である。次に、26都市を以下で説明するようならつの項目によって分類し、個々の分類結果を統合することによって、徳島市の類似都市を選定する。

1) 人口 図-1に示すように、第1軸に人口密度、第2軸に昭和50年～55年の人口増加率、第3軸に昼間人口密度をとり、都市の特徴を三角形で表現した。破線で示された三角形は26都市の平均値を表わしている。人口による分類では、類似都市として、人口密度と昼間人口密度がほぼ平均、人口増加率が平均、あるいはやや平均以下の函館市、金沢市等7都市を選んだ。

2) 人口構造 都市の性格を捉えるための指標として、年齢による人口構造をとりあげた。人口を年少人口(0～14才)、生産年齢人口(15～64才)、老年人口(65才以上)に分け、それぞれの比率を三角座標にプロットした。図-2より徳島市は、他都市に比べ老年人口が多いことがわかる。類似都市には、高松市、松山市等7都市を選んだ。

3) 土地利用計画 都市を都市計画区域、市街化調整区域、および非都市計画区域に分け、全面積に対するそれぞれの面積比率を三角座標にプロットしたものを図-3に示す。この分類では、都市は7つのグループに分けられ、徳島市の類似都市として、市

表-1 比較対象都市

記号	都市名	記号	都市名
A	徳島市	H	新金市
B	福山市	I	高松市
C	旭川市	J	松山市
D	青森市	K	大分市
E	秋田市	L	松本市
F	宇都宮市	M	横須賀市
G	浦和市		
H	大宮市		
I	市川市		
J	宇都宮市		
K	松本市		
L	大分市		
M	横須賀市		

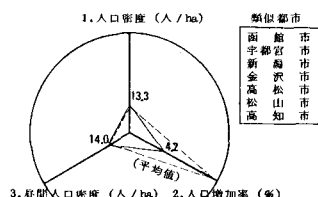


図-1 徳島市の人口と類似都市

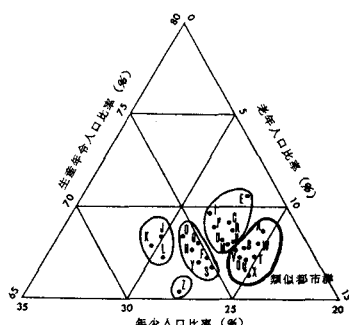


図-2 人口構造による都市分類

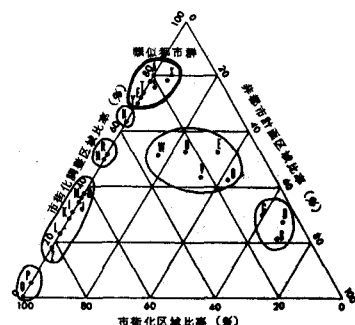


図-3 土地利用計画による都市分類

街化区域比率と非都市計画区域比率が低く、市街化調整区域比率が高い宇都宮市、奈良市等5都市を選定した。

4) 用途指定 さらに、市街化区域を住居地域、商業地域、工業地域の3地域に分け、それぞれの面積比率を三角座標にプロットした。図-4に示すように、都市は4つのグループに分類することができ、徳島市の類似都市として住居地域比率が他都市に比べ低く、工業地域比率が他都市より高い高松市、松山市等10都市を選定した。

5) 産業別従業者数 比較対象26都市を選ぶ際には、就業人口を採用しており、都市のもつ産業構造を論ずるには若干不明確な点があるため、ここでは、従業者数による都市の分類を行う。図-5に、各都市の第2次および第3次産業従業者数をプロットし、分類した。第1次産業従業者数は26都市すべてにおいて、その比率が2%未満と非常に低いいため分析から除いた。図より、函館市、下関市等10都市を類似都市とした。

6) 財政 都市の豊かさ、あるいは財力に基づく分類を行うための指標として、1人当りの所得、および1人当りの歳出額を採用した。図-6に、26都市の両指標の値をプロットした図を示す。図より、徳島市の人口1人当りの所得は他都市に比べ低いことがわかる。類似都市としては、下関市、佐世保市等8都市を選定した。

最後に、以上1)～6)で説明した分類結果を総合的に判断して、函館、金沢、下関、高松、松山、高知、佐世保、および大分の8都市を最終的な徳島市の類似都市とした。

3. 整備目標水準

整備目標水準は、類似8都市の現在の整備水準の平均と仮定した。図-7には、1例として、児童1人当りの小学校校舎面積の整備水準を示す。横軸は整備水準(m^2)、縦軸は都市の累積度数を表わしており、26都市を整備水準の低い都市から積み上げたものである。徳島市(記号A)は、整備水準が $4.33m^2$ で、26都市中24位と悪く、目標水準($5.14m^2$)をかなり下回っており整備が遅れていることがわかる。同様に、各種の生活環境施設についても考察が可能であるが紙面の都合上省略する。

4. おわりに

本研究では、施設の整備目標水準を類似都市を参考にして仮定し、考察した。分析過程では、種々の指標によって都市が分類でき、全国の都市における対象都市の位置づけができた。また、類似都市の整備水準によって設定される整備目標水準は、比較的現実的なものではないかと考えられる。ここでは、整備目標水準は1種類しか設定しなかったが、今後は何種類かの水準を設定し、それぞれの案を比較検討する必要がある。また、現実の整備計画のためには、類似都市の現況だけでなく、対象都市の将来像の類似都市を参考にする、さらには、法令による基準値や住民の要望等を取り入れることによって総合的に整備目標水準を設定する必要がある。

参考文献 1) 自治省：類似団体別市町村財政指数表，自治省，1980。

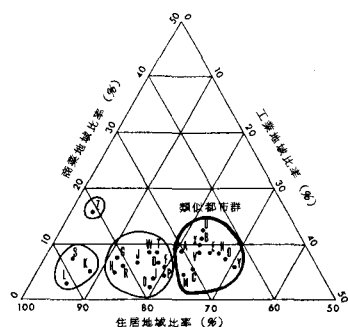


図-4 用途指定による都市分類

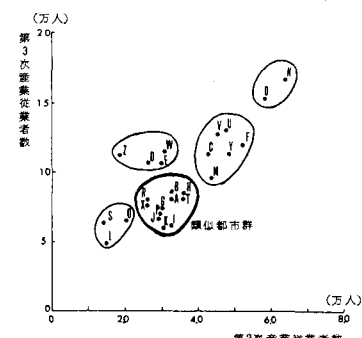


図-5 産業別従業者数による都市分類

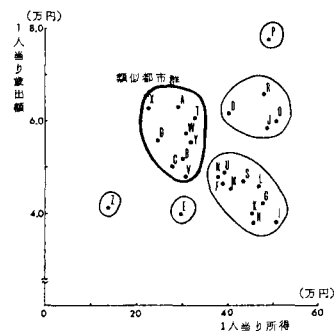


図-6 財政による都市分類

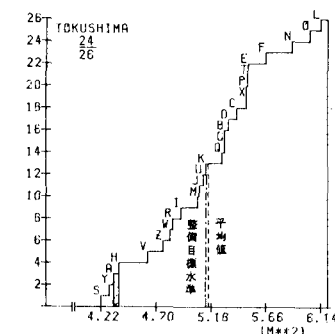


図-7 児童1人当りの校舎面積(小学校)